

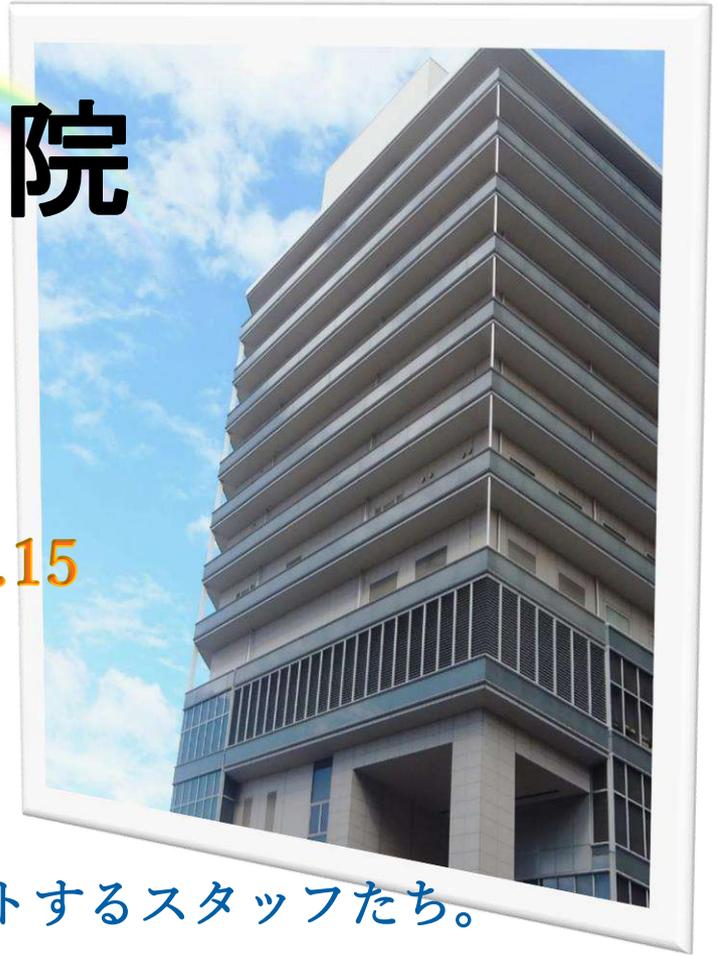


医療法人伯鳳会

大阪中央病院

「虹」 Vol.15

2023.5月



健康管理センターとそれをサポートするスタッフたち。

表には出ない部署もあるけれど

みんなでしっかり支えています！



放射線科

病院内にあるので、
各診療科にも支えられています

保健師

内視鏡洗浄室

表の顔は私たちですが、
裏方がいなければ成り立ちません

中央検査部

信頼される質の高い健診を提供できるよう、スタッフ一同、日々努力してまいります。

6階・8階・9階の3フロアを健診部門とし、年間7万人を超える方にご利用いただいています。

受診者のニーズに応じた様々な健診を行っており、人間ドックや一般健診の他、脳ドック（火曜午後）、心臓ドック（木曜午後）などのコースも設定し、半日ドックとの併用も可能となっています。

またレディースデーとして、人間ドックは第1金曜午前と第2土曜午前、一般健診は第2土曜午前と第3金曜午後を女性専用フロアとし、ドック結果説明と胃透視・胃カメラ検査を除くすべての検査を女性が担当しています。

精密検査や治療が必要となった場合でも、病院併設型の健診施設のため、院内の診療科への紹介が容易です。

健康管理センター内視鏡室では、7名の内視鏡洗浄員が上部内視鏡検査後の内視鏡洗浄、健診着の準備・回収作業を中心に従事しています。

上部内視鏡検査は、1日70～80件で、週5～6日行っています内視鏡システム5台、スコープ22本、洗浄機（2本洗い）8台を使用して、スコープ1本あたり1日4回洗浄しています。

医師・看護師と連携し速やかに洗浄出来るようチームワークで取り組んでいます。

健診着については、繁忙期はドック・一般健診合計300人分を準備し回収しています。

快適な健診をお届けするために。

内視鏡室の黒子たち、内視鏡洗浄員



病気の予防・健康増進につながるよう、
保健指導を行っています。

- ・生活習慣を見直したい。
- ・健診結果を改善したい。
- ・病院受診について知りたい。



など受診者様のいろいろな声に耳を傾け、健康な未来へサポートさせていただきます。

ICT(ZOOM)を活用した遠隔面接も行っていきます。
ぜひ保健指導・特定保健指導をお受けください！

当院の特定保健指導 詳細はこちら→



こんにちは、放射線科です。

レントゲン・マンモグラフィ・バリウムでおなじみの当科ですが、
昨年CT・MRI(※)装置をリニューアルしました。

最新技術による画質の向上は勿論、CT検査ではさらなる放射線被ばくの低減、MRI検査では以前より快適性が向上しました。

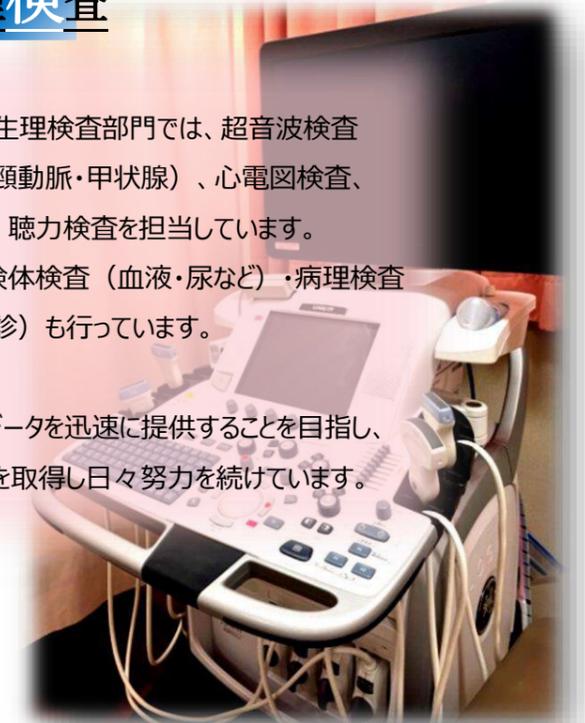
安心・快適な検査で皆様の健康をバックアップいたします。

※ 健診ではCT（肺マルチスライスCT）、MRI（1.5T脳MRI・MRA）はオプション検査となっております。

健診生理検査

健診センター生理検査部門では、超音波検査（腹部・乳腺・頸動脈・甲状腺）、心電図検査、呼吸機能検査、聴力検査を担当しています。
別のフロアでは検体検査（血液・尿など）・病理検査（婦人科細胞診）も行っています。

質の高い検査データを迅速に提供することを目指し、
各種認定資格を取得し日々努力を続けています。



院長より ごあいさつ



2023年4月1日付けをもちまして病院長に就任いたしました弓場健義でございます。75年余の歴史を有する当院で院長という大役を担わせていただくことを大変光栄に思っております。

当院は1944年梅田曽根崎にあった大同生命直営の「大同病院」を健康保険組合連合会が引き継ぎ、「健保連 大阪中央病院」が設立されました。その後、2000年に現在の梅田 大阪ガーデンシティという文字通り大阪の中央に新築移転となり、内視鏡手術、ロボット手術など、先進的な低侵襲治療に取り組み、特徴あるトップクラスの診療科を有する都市型急性期病院として発展してきました。

予防医療の観点から健診部門に特に注力し、健康寿命を伸ばすという時代のニーズにあった医療にて着実に成長を続けて参りました。当院の健診部門は病院診療部門とシームレスにつながり、健診で異常が発見された場合には時間を置かず、迅速に診療につながられて、皆様に安心していただいております。

また、女性に優しい医療も展開してまいりました。女性スタッフ（医師、看護師、放射線技師、検査技師、受付業務等全員）のみで健診を行う日を設け、病院診療部門では女性特有の病気でも、悩まず安心して診療が受けれるようにさまざまな配慮をしています。

さて、当院は経営主体が「健保連」より「医療法人伯鳳会」に変革し、早や3年となりました。この間、ちょうど新型コロナウイルスの真ただ中で大変な時期でした。しかし、この3年の間に電子カルテの導入、ペリオ外来の新設等、数多くの変革が成され、民間病院としての効率性、迅速性に加えて、職員一丸となって乗り越え、外来患者数、入院患者数、手術患者数は新型コロナウイルスの前より増加しました。

これからも職員一同、力を合わせて、大阪中央病院の更なる発展を遂げていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

院長 弓場 健義

編集後記

大阪中央病院のおおきな柱が健康管理センターです。日々システムの更新など進化しています。的確な診断を行うためには、これを支える集団の存在が欠かせません。今回は進化を続ける健康管理センターとそれを支えるスタッフたちに焦点を当ててみました。

病院レポート 「虹」

2023年5月発行 Vol.15

編集・発行

医療法人伯鳳会大阪中央病院
広報委員会

〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-30

TEL 06-4795-5505 (代表)

FAX 06-4795-5544

◆地域連携・入退院支援センター

TEL 06-4795-5533 (直通)

FAX 06-4795-5535 (専用)



病院ホームページ

#青いハートがあふれる社会を

医療をつなぎ、未来をつなぐ。多くの命を救うために。



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

